

芸閣

～図書館だより～

第3号
2019年6月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)

カエルの合唱……

田植えが終わったこの季節に田んぼから聞こえてくるのは、カエルの合唱。世界には、さまざまな色や形のカエルが棲んでいます。暮らし方もさまざまでアッと驚くような生態のカエルもいます。図鑑を読めばカエル博士になれるかも。

予告

図書館講座のお知らせ

日時 7月18日(木) 午後1～2時ぐらい
(三者面談中の午後です)
場所 桐蔭図書館
講師 本校国語科 小地原先生
中学生図書委員、高校1、2年生図書委員は
全員参加です。ご予約ください。

図書局員が選書に行ってきました！

5月16日に和歌山城近くの宮脇書店にて、図書局員による選書が行われました。そこで、今回は、そのうちの1冊を紹介します。

『トラペジウム』 高山一実 著

トラペジウム、この意味を知っている人は少ないでしょう。トラペジウムとは、オリオン大星雲の星生成領域で生まれた比較的若い星の星団です。

『トラペジウム』は、高校1年生である主人公が東西南北の美少女を仲間にして、トップアイドルを目指す物語です。このような物語の設定はよくありますが、他と違う点は著者自身が実際にトップアイドルであることです。そのため、アイドルの世界がリアルに描かれています。この本はライトノベルに近いので、読みやすいです。(3年 崎山)

『新海誠展』

2016年に公開された「君の名は。」で一躍有名になった新海誠。この書籍は、そんな彼がほとんどの作業を一人で手掛けた、彼の最初の短編アニメーション「ほしのこえ」(2002年公開)から最新作「君の名は。」までの全ての作品の絵コンテや設定資料、裏話が詰まっています。

新海誠作品(特にアニメーション)において個人的によく見ていただきたいのは、その美しい描写。精巧に描かれた街並みや駅、神秘的で取り込まれそうになる自然、そして、細かく揺れ動く人の想い。新海誠作品以外では誰にも真似出来ないものがそこにあります。ぜひご覧ください。

「美しく壮大な世界ですれ違う男女の物語」を描くことで人間の本质に迫る新海誠監督作品——新海誠のアニメーション作品の魅力に迫ります。

『新海誠展』ごあいさつ より一部抜粋
(3年 釣上)



新着図書を紹介

図書局員が宮脇書店で
選んできた本です！

日本の小説

- 『小説 星を追う子ども』 新海誠 原作 KADOKAWA
- 『小説 雲のむこう、約束の場所』
新海誠 原作 KADOKAWA
- 『最後のトリック』 深水黎一郎 著 河出書房新社
- 『きみの世界に、青が鳴る』 河野裕 著 新潮社
- 『凧の弦音』 我孫子武丸 著 光文社
- 『武道館』 朝井リョウ 著 文藝春秋
- 『魔力の胎動』 東野圭吾 著 KADOKAWA
- 『十二大戦対十二大戦』 西尾維新 著 集英社
- 『人類最強のときめき』 西尾維新 著 講談社
- 『チュベローズで待ってる』 加藤シゲアキ 著 扶桑社
- 『洗濯屋三十次郎』 野中ともぞ 著 光文社
- 『百花』 川村元気 著 文藝春秋

芸術

- 『演劇に何ができるのか？』
妹尾伸子 著 アルファベータブックス
- 『何者でもない』 般若 著 幻冬舎
- 『新海誠展 「ほしのこえ」から「きみの名は。」まで』
朝日新聞社
- 『クイーンオフィシャル・ヒストリー・ブック』
ハリー・ドハティ 著 竹書房
- 『歌丸不死鳥ひとり語り』 桂歌丸 著 中央公論新社

本のリクエスト（購入希望）について

図書館では、皆さんからリクエスト（購入希望）を
随時、受け付けています。読みたい本が桐蔭図書館
に無いときはリクエストしてください。ただし、シ
リーズで既に何十冊も発行されているものは予算的
に厳しく、また置くスペースもないので、希望に応
えられないことがあります。ごめんなさい。

その他

- 『読み出したらとまらない雑学の本』
竹内均 編 三笠書房
- 『漱石を知っていますか』 阿刀田高 著 新潮社
- 『名画で読み解くブルボン王朝12の物語』
中野京子 著 光文社
- 『ハーブとスパイスの図鑑ミニ』
エスピー食品株式会社 監修 マイナビ出版
- 『ウドウロク』 有働由美子 著 新潮社
- 『わかりやすさの罠』 池上彰 著 集英社
- 『京都の壁』 養老孟司 著 PHP研究所
- 『哲学思考トレーニング』 伊勢田哲治 著 筑摩書房
- 『4歳の僕はこうしてアウシュヴィッツから生還
した』 マイケル・ボーンスタインほか 著 NHK出版
- 『身の丈にあった勉強法』 菅広文 著 幻冬舎
- 『哲学用語図鑑』 田中正人 著 プレジデント社
- 『悪意とこだわりの演出術』 藤井謙太郎 著 双葉社
- 『頭に来てもアホとは戦うな！』
田村耕太郎 著 朝日新聞出版
- 『日本現代怪異事典』 朝里樹 著 笠間書院
- 『色と性格の心理学』
ポーポー・ポロダクション 著 日本文芸社
- 『動物化するポストモダン』 東浩紀 著 講談社
- 『考える日本史』 本郷和人 著 河出書房新社
- 『国語ゼミ』 佐藤優 著 NHK出版
- 『他人の足を引っぱる男たち』
河合薫 著 日本経済新聞出版社
- 『豆腐100レシピ』 堀人美 著 学研プラス
- 『圧倒的な成果を生み出す「劇薬」の仕事術』
足立光 著 ダイヤモンド社



イラスト：わんバグ